



常笑

常相

じょうしゅう

常昇 桜井中学校2年生学年だより

3月号

令和6年2月28日 NO.13

常勝



「緊張したけれど、初めて多くの人前で話せて自信がいった」「こうやって自分の未来を考える機会をもらえてよかった」これは、ある生徒が立志式について振り返ったときに話していた言葉です。立志式当日、そして立志式に至るまでに、各自が大きな学びを得て、成長していったことが伝わりました。

本年は干支でいう「巳年(みどし)」、すなわち、へび年です。へびは、古来より知恵や再生の象徴とされ、その習性から変化や成長をも示しています。へびが脱皮して進化を続けるように、私たちも現状に甘んじることなく、常に成長を目指していく姿勢が大切です。今回の立志式のように経験を学びに変え、これからも大きく成長していく皆さんの姿に期待しています。

保護者の皆様、先日はお忙しい中立志式に参列してくださりありがとうございました。生徒たちはこれから中学3年生として新たなステージに進むこととなります。この時期は、心身ともに大きな変化が訪れる時期でもあります。温かい目で見守り、支えていただければ幸いです。あと一か月になりましたが、よろしくお願いたします。

☆進路情報について

Teamsの「2428 桜井中 2年生全体連絡」の中に、「進路連絡」というチャンネルがあります。そちらに、中学2年生を対象とした体験入学の案内や学校説明会の案内をアップしています。内容を見ていただき、興味のある方はお申し込みください。なお、これらの情報は各学級にも掲示されています。ぜひ皆さんに毎日チェックをするようにご家庭でもお話いただけたら幸いです。

☆スリッパや体育館シューズについて

年度末になり、スリッパなど学校においてあったものを持ち帰ります。生徒の持ち物を見ていると、破損しているものを時折見かけます。来年度の体験入学や受験等を見越し、スリッパなどの持ち物をチェックしていただき、必要に応じて新調していただけるとよいと思います。ご協力よろしくお願いたします。



生徒企画行事の様子



立志の会の振り返り

<p>A組</p> <p>私は立志の会に際して、いろいろな方法で自分のことを考えました。性格診断を試みたり、みんなに聞いたりした結果、私は結構な飽き性であり、熱しやすく冷めやすいと分かりました。このままではいけないと反省し、自分が興味をもてるものを探し、それに基づいた己書を書きました。</p> <p>合唱では、歌詞と自分の状況が重なり、自分の意志を大切に強く生きていこうと決意しました。初志貫徹を掲げ、立志の会で決めたこと、思ったことは全て忘れず、今後に生かせるように自分のペースで挑戦していきたいです。</p>	<p>B組</p> <p>立志の会を通して、自分がこれから頑張りたいことを大勢の前で発表したことで、これからの人生に希望をもつことができました。今まで挑戦できなかったことにもたくさん挑戦したいと思ったり、家族に感謝の気持ちを伝えたりする機会があってとてもよかったです。</p> <p>志を立てて満足するのではなく、今回立てた志を今後どのようにクリアしていくのが大切だと思うので、今回私が立てた「いろいろなことに挑戦して、大変な中でも常に笑顔で乗り越えられる」という志に向かって頑張ります。</p>
<p>C組</p> <p>立志の会を通して、人に心から感謝する大切さを学びました。己書では、「縁」という字を書きました。人とのつながりを意識して、感謝をしようという目標をもとうと考えたからです。本番では、みんなの気持ちがこもった決意表明を聞いて、自分も頑張ろうと思ったり、親への感謝の手紙を聞き、僕も感謝しようという気持ちが高まりました。立志の会では、多くの人に支えられて生きてきたことに気がきました。今後は感謝を伝えていきたいです。</p>	<p>D組</p> <p>私は立志の会を通して、これから頑張りたいことを伝えることができ、しっかり未来を見つめ直せる会にできました。</p> <p>今まで家族や周りの人たちに感謝を伝えることができなかったけど、立志の会ではこれまでの感謝を伝えることができました。また、将来の夢だけでなく、これからの人生をどのように過ごしたいのかを考えることができました。決意表明で宣言したように、家族や友達と一緒に笑顔で楽しい人生を送りたいです。</p>
<p>E組</p> <p>今まで、将来どういう人になりたいのか、どういう職業に就きたいのかなどあまり考えてきませんでした。しかし、立志の会を通して、自分はどういう力を身に付けたいのかを真剣に考えたことで、将来のなりたい自分の姿がとても明確になりました。また、決意発表や学年合唱で、両親に成長した自分の姿を見せることができよかったです。ここまで育ててくれたお母さんやお父さんへの感謝の気持ちを忘れず、感謝の気持ちを言葉や行動にして伝えられるよう、手伝いを進んでやろうと思います。</p>	<p>F組</p> <p>立志の会を通して自分の人生をふり返し、私は家族とけんかをしたとき、私から謝ることがほとんどできていないということに気がきました。けんかをした原因が私にあっても、お姉ちゃんやお母さんは優しいので謝ってくれます。そのため、すぐにけんかが収まります。お母さんも昔は私みたいな子供だったと、おじさんから聞きました。今はこんな私だけれど、将来の夢である助産師になるためには、優しさや協調性が大切だと思うので、私も大人になったらお母さんのように「謝る・許す」ことができる人になりたいです。</p>
<p>G組</p> <p>立志の会を通して、失敗しても諦めずに挑戦していくことが大切であると感じました。また、自分の仲間の発表を聞いて、それぞれが自分の目標をもち、努力し続けていることが分かりました。</p> <p>私の将来の目標は「自分以外の誰かの役に立つこと」です。この目標を実現するためには、自分ができることを増やし、常に成長し続けようとする姿勢が大切だと思いました。どんなに些細なことでも、人の役に立ち、努力し続けようと思います。そして、大きな壁に直面しても諦めず、乗り越えていきたいです。</p>	<p>K組</p> <p>私は、立志の会で二つのことを頑張りました。一つ目はプレゼントの合唱です。最初は音程がうまく合わせられませんでした。何回も練習をしてどんどんうまくなりました。立志の会では、学級のみならず合唱よかったよと言われたのがうれしかったです。もう一つは決意発表です。ステージの上では、歩き方、姿勢、音を立てずに歩くことを気を付けて頑張りました。立志の会では、自分の将来のことやこれからの目標について考えることができよかったです。私は、これからも元気に生活していきます。頑張ります。</p>